



正改
増補日本麻子

卷之十

若狭 越前 加賀 能登 越中 越後 佐渡

加唐乃番

一四九五 廿六廿七廿八廿九

ル 3
960
10



門 113
號 960
卷 10

日本麻子卷第十

北陸道七ヶ國之内

○若狭國三郡小上國 南小一里

知行高八万五千九十石

遠敷 大飯 三方

○小浜之城 江之谷 東海道百九里

城主之次男

當國者性古武田義統領之

木下氏勝俊

後号長嘯

慶長五年ヨリ

京極宰相高次

九万二千石余江列氏ニ

同

同若狭守忠高

寛永十一年出雲松江所之



寛永十二年以後

酒井清成守忠勝

十五子右数多江列野列共

十五子右

同 後醍醐天皇忠直

外万石寛永八年甥故本守
忠榮配分之

同

同 遠江守忠隆

當城主

同

同 修理大夫忠音

同 國中神社并寺院之大概

○ 遠敷大御所

左邊郡之

為社の御所并ハ元正天皇ノ乃河守矣
永元年九月十日に嘉祿尚國此矣
也上下の宮二社建之上の宮ハ嘉祿

如見のみと下ハ豊玉姫ト云

社似二十名余

○ 碓道守大御所

大坂郡 三浦村之

○ 上瀬大御所

三芳郡 氣山村之

○ 常大御所

日赤郡 若津浦之

○ 織田大御所

同郡之

○ 高那大御所

同郡之

○ 多田大御所

遠敷郡之

○ 八幡宮

小湊之

為社の御所并ハ豊永國守作之郡
菱形山守作八幡大宮也順徳院
乃御所 兼久二年九月其所不効請
ト云

○神頼寺

遠敷郡立
高寺ハ元正天皇の御宇に長良天皇
甲に弟則國中より夜災切ひてし
くことりて國人病ひよあすとの
比人神々の名よりて其地建立
ト云く

○松尾寺

海人ニ立
なる行基の作観音なり

○浄土寺

浄土宗
建曆年中建立同基浄土上人の
才子勢観坊ト云く

西光寺

右同宗

三溪ニ立

○洞禅院

禅一宗
高寺ハ木下長嘯建立号杯月山
今寺破失カ

○徳源寺

右同宗

二方郡立

○妙光寺

法花宗

町尾村立

高寺ハ後醍醐院の御宇に建立
同基日像上人ト云く

○正福寺

右同宗

大原郡
田中村立

同國中名所之部

○後津山

高田乃小海をにわらふ山也新後撰
冬のうらに侍候之世

しと物のみんありと云ふ所多ク
後津乃山といふなり

○高松山

水もあまねの山なれり
高松山といふなり

○三秋海

海名にわらぬあり三秋海と云ふ
とあり所の浦也

ありくまのふと出てるん
まゝに相うをれいふくくくわと

○巢之山 小濱 泊舟 黒摘

同國中名物出所之部

白木 芍薬 蒺藜子

蓮肉 香附子 厚朴 石斛

辛灰 石灰 絞姥 板木

楊枝木 熊河棒木 鋤 鋤柄

小濱酒 同筆 指履

洲邊自指奥 尾邊鞋

小浜系ツノ字 鼻折小

蛤螺 蕨粉 耳後貝 鮎

尺八鳥賊 大濱つる 鮎のゆら

青壁苔 若和布 厚紙

黒基石 煮ゴキ

我亦國教賣人多國小濱

道法付并小濱ヨリ 茶之之

○敷野方 佐垣 三里

此乃小坂中り佐垣より十に又所此
乃海をこみし海がな波つくる
その時ふたの山とまうり五里の
まうり也

○佐垣 三里 六里

○三原 小浜 二里

はるほあり○あり村は村の上より
坂あり城ありひくさ川と云あり延方
ありいぬ川と云川あり
○小湊 京と一十八里あり

北陸道七ヶ國之内

○越前國十二郡大上と國 南北三日

知行高六十八万二千六百五十七石

敦賀 丹生 今立 足羽

大野 坂井 黒田 池上

林田 吉高 坂小 南條

○福井之城 山ノ下

姓古号亦不
當國八朝倉義景領之

柴田波理光勝家

丹羽五郎左衛門長秀

十八石
堀久太郎秀政

同
同左衛門督秀吉

吉本紀修守

慶長五年ヨリ 六十石
中納言吉秀康卿

宰相忠直卿 後号一伯

津橋越後守光長 越後之
高田移

五十二石
松平修徳守忠昌

除敦賀左衛門大野等

北陸道

七ヶ国

東

作波

之

□村

□柴田

カウツケ

○村松

○長尾

○尺海

高田□

ミナノ

○小豆

□富山

越中

七尾

○山

ヒタ

能登 四郡

○川尾

○秋

○小豆

加賀 四郡

□金沢

○小豆

○正寺

□福井

○丸尾

ミノ

越前 十三郡

○大野

□石川

○小豆

○小豆

アフミ

若狭 三郡

○小豆

○小豆

タニコ

ヤニシロ

北

四十五万石
松平越中守光通
外五万石中務太輔昌勝二万五千石
同兵部大輔昌親配分之

延宝二年三月
四十七万五千石
松平兵部大輔昌親
三月七月中旬限着

同四年三月
同
松平越中守
其父中務大輔若名千菊ト云

貞享三年三月
三千五百石
松平伊豫守吉邦

同国
府中之城 同
松尾市力以吉晴

慶長五年三月
中納言吉秀康卿持分
雲相忠直齋以家次福井城
王持分

同国
九国之城 同

城主之次 同
慶長五年三月
四万七千石
松平飛騨守成重

同
同淡路守

同
同飛騨守重嗣
有る在馬つ佐具純

同国
大野之城 同

城主之次 同
五万石

元和九年三月
松平出羽守直政
寛永十二年信列松平工所ト云

寛永十三年

五万石中納言秀康四男

松平大和守直基

正保元年出羽山形工所之

五万石秀康御五男

松平但馬守直富

六万石

松平若狭守直明

天和二年播磨明石工所之

四万石

松平越前守利房

天和二年改役

當城主

四万石

同甲斐守利治

同國中神社并寺院之大概

○氣比大社

敷地三三

此社乃神林八幡宮天宮の由縁
石清水寺同社也天宮角麻比幸
乃時行宮と興て寄殿の宮といふ

神功皇后十三年應神太子乃
命氣比神ト云々

○神明

福井三三

此社乃神林八幡宮也
後寺門内院延徳年中其所改築す
といふ

社領二百石 福善院

○八幡宮

福井三三

正親町院永禄四年九月建之依
勅也豊後國宇佐郡美敷郡
太神並同体ト云々

○白山権現

大野三三

此社の神ハ白山比咩の神元正
天皇の御宇に於て其年加賀の國
石川郡秋津といふ

社領二百石 平白寺

○同社
社領五十石 別あり 室室院

○日永神社 日永郡に在
此社は建體天皇の御宇に建立
ありと云り

○天満宮 播磨に在

此社乃神祇の要所也
天曆元年花原山野上にて馬
場を築祀せりト云々
仁治年中に此社所より

○天王 播磨に在

元慶院正慶二年詔宣の事あり
て尾州津治の狼害牛馬を
世所より

○河合神社 河合に在

此社の御宇に大己貴命の御所
ありト云々

○長徳寺 長徳に在

○日永神社 日永に在

此社の御宇に御都奈持乃
多化也とのいふ事あり
申のうらら月九日あり
すとのうらら月九日あり
すとのうらら月九日あり

○長徳寺 長徳に在

後深系院喜禄年中親尊上
人建之なる所也

○永平寺 永平に在

寺領二百四十石余
後深系院建長五年に建之
時頼造立用山道元禪師号
吉祥山曹田宗也

○林泉寺

寺傾二百石

右同門宇曹洞宗用山道元禪師
建之ト云ク

○長福寺

寺傾五十石余

正親町院の御宇朝倉義景建
之ト云ク右同宗

後井之

○香通寺

大野那之

花園院の御宇建之田山惠玄禪
師ト云ク右同宗

○本城寺

寺傾三百石真言宗

浦原之

○金剛院

寺傾五十石右同宗

板西之

○福壽院

寺傾百石右同宗

福井之

○平泉寺

寺傾二百石右同宗

大野之

○二条寺

寺傾四十石右同宗

池上之

○観音寺

寺傾五十石右同宗

松江村之

○観音寺

寺傾三十石右同宗

中村之

中寺行基の作十午観音也

○大通寺

寺傾三十石右同宗

西川之

○浄土寺

寺傾

福井之

後花園院の御宇親鸞上人の建
之ト云ク

○林光寺

寺傾五十石余右同宗

上野田之

○正福寺

寺ハ七十五石右同家

○西光寺

寺ハ 右同家 東河ノ立

正親町の院の所宇天正年中
建立ト云ク

○常光寺

右同家 西村ノ立

○上妙寺

右同家 轉ノ立

○法花院寺

法花家 後井ノ立

後名顯院の所宇自像寺人開
基則上人の執像云々

○妙音寺

右同家 大野ノ立

同國中名所之記

○有乳山

海付の宿より一里かのうらり素
うり世廣よわさる也

云々有乳の山と有り云々乃
有乳山と云々

○夫回野

廣野 大野

有乳山の山は道の北に山を
それより少一里らうり行くと田野

あり数軒の村あり云々
西乃々也新古今乃々人凡

夫回乃々あり云々
云々のあり云々

○河内郡の里

わらわら西一里ゆり云々
河内乃々あり云々

○角麻山

浦須毛之くわら山の老道乃
けりり良のうらけく城並の所ん
形也つるくハ山形也世傳よつま
乃津とも也高深氣沈のゆ村
の社あり社西じこ也山はらぬあり
梓弓つるふ山と多縁く
くりし房ふんをてあくある

○首飯海

角麻乃浦須とらあ也ゆらり
氣沈ゆ村の社あり仲哀天は社
所ん幸乃河行宮とたぐく首飯
乃宮とのふよりありあつるう村所
の浦須と氣沈の海とあをよみ
けるこらり

○越乃中

けいの海うさひあじわのしら
こくれくもるわらりのつらあ
者えぬりりうらあをるそあ皆

越前之國氣比大明神



加賀之國 白山大権現



津とて大山と致て致す所の所人出
あり是と申おしりあも安んは六梅
山とてあり

町りて六梅山とてまゆらん
紙の中山を存るる

梅山

北の西よあ遠く海に南を築て

ふらふらありて六梅とてらるる
立列あんとてのりて

五梅山

海に山のともて新古今列の

いれあんとては六梅のゆき

六梅山

海に乃標下也天法園にも因り

著のゆりてあんとては六梅
ゆきあんとては六梅のゆき

六梅山

六梅の標

六梅の標

世傳はわさしはしつ所へ此所より
後丹へ二里あり

わさしつりの橋を過りてはれり
ちちくことちちくこと

たねをの林をえはたわさしつりの
まき乃橋をえりちちくす

（註）

わさしはしつ所より丹あり是と
おしつりあしつりのはのまに回る

おしつりあしつりや丹ありあしつり
よれと作らるるはなすあん

同國中名物宗所之部

英連 鈿 奉書 鳥子

雲紙 薄様 厚紙 連尺

牛頭布 割織布 鴉布

半肩頭巾 蒲御巾

蓑 絹 帛 綿 切石

磁 金澤鑄 只之ツ燻

中男祿唐 網代巻履

塗 敷有糸行法

足田箱 三國箱 同懸 結

同鏡 同蓑 靴 茶母靴

大日本書紀卷之八

七

大蛸 タコ 丸墨素麩 丸カウロウメン 冬ノ油木 フシキ

東ヨリ江ノ色小湊道宿
道法宿あり之分

此道易西遊江海に亦遊江海遊之
てたこゆありぬ道より久き宿
宿と云所ありふ 百色依之今ノ宿
ま之の道法ハ遊江の道分さ之

○今在り 湯尾 一里

此方たのうた山にあり城と云此方
右のうた川あり白雲女川の水上也
川乃のふた垣通よりそれよりた
池田と強く大野へゆく也湯尾
わり兼座あり 亦乃兼座の橋端
みとのふた池にしまふりと高き也

○湯尾より 熱波 一里

此方たのうた川に白雲女川の古橋あり
そこの山也熱波六松山の村より湯尾
あり

○熱波より 根中 一里

たのうた川に白雲女川の古橋あり

○根中より 府中 二里

○府中より 熱波 一里

此方より府中へいたの方にあき山あり
田尾女川に白雲女川と歌へた乃
山深丸生との所をむり丸生判
友兼佐の池といふの方れせむせ

○熱波より 湯尾 一里

上熱波下熱波といふ二村あり上熱波は
亦乃兼座の橋端ありと云二里入
りありありのうた川に白雲女川の
右の方に白雲女川の古橋あり

○湯尾より 福井 二里

右中川よりたのうたの白雲女川の古橋あり

乃のり是より九里あり○名は新河是よりたのふに若は道より新也○は尻たもあうあう云所と云く後井にへ

○福井より 一里

城のり是より九里あり○名は九里野七りむ是二り若は二里蔵田七り三國にり是れをりま

○舟橋より 四里

大川舟橋あり河のふもと舟橋といふ川の向といふ○のふもと

○長傍○みか 合津より 二里

河中にいふ河のふもと一里

是を新河のふもとといふ○のふもと

是よりまのふもと○名は國之ふもと

北陸道七ヶ國之内

加賀國四郡中上國東西二里

知行高四万二千五百石

江沼 越前 石川 加賀 河本

金澤之城 〇名 東海道百五十里 北陸道百九十里 中仙道百二十里

大納言利家

中納言利長

貞十九年三月廿九日加賀守 慶長五年加賀國内丹羽守 長重山口玄蕃九所願賜利長

松平肥前守利常

松平越前守利高

外方名是後守利次方名同死守

當城主

同國
松本藩守細紀

同國
○大聖寺

東海に百廿九里
山陰に百廿二里
中絶に百廿八里

城主之源牙

山口玄番允

慶長五年より 中絶言利長持

中絶言利常持

七方石
松本藩守利根

當城主

同國
同絶守利明

同國中神社并寺院之大概

○白山権現

別名 南四寺之内 昌徳寺
元正天皇^{イナ}と^{イナ}天武天皇^{イナ}三年高麗石川^{イナ}飛
璽^{イナ}一^{イナ}妙理権現是也といひり
後奈良院乃御^{イナ}天文二十三年五
月山^{イナ}々々^{イナ}燒^{イナ}く^{イナ}蘇^{イナ}乃^{イナ}地獄^{イナ}物^{イナ}

○金釵宮

山形縣天竺の所^{イナ}乃^{イナ}海^{イナ}國^{イナ}に^{イナ}在^{イナ}跡
大社宮乃分^{イナ}也^{イナ}同^{イナ}時^{イナ}に^{イナ}社^{イナ}造^{イナ}之^{イナ}

○東照宮

社^{イナ}於^{イナ}千^{イナ}石^{イナ} 別^{イナ}名^{イナ} 神^{イナ}護^{イナ}寺

○八幡宮

金^{イナ}乃^{イナ}之^{イナ}
為^{イナ}社^{イナ}八^{イナ}幡^{イナ}清^{イナ}和^{イナ}天^{イナ}皇^{イナ}の^{イナ}所^{イナ}に^{イナ}在^{イナ}類
元年八月廿三日山城國久世の郡
男山の峯に移^{イナ}一^{イナ}七^{イナ}の^{イナ}云^{イナ}後^{イナ}奈良
院の所^{イナ}乃^{イナ}天^{イナ}文^{イナ}年^{イナ}甲^{イナ}辰^{イナ}所^{イナ}に^{イナ}移^{イナ}之^{イナ}

八幡宮

小松の所ニシテ
其の刻派記未詳也社の宝物ニ
汝者列著スルものありのうらひふまを
大なる

天神

敷地ニシテ

神内

今依ニシテ
其社の神祇ハ修務也外の神祇
あり其の嚴院乃神宇正慶年中
徳宣のころありて此地ニ勅法あり
なり

天満宮

金沢ニシテ

其社乃神祇ハ愛相善の神其に
ていそ守依見院の神宇永仁五年
九月廿五日山城國小野右邊の場
より社所ヲ移トス

祇園社

日本ニシテ

其社ハ尾洲津波乃祇園平頭
天皇ニ勅法スル所也
稲荷社

日本ニシテ

其社の神祇ハ元の天智の初御年
中ハよりあり山城國佐奈利山より
現むと云々其所の勅法也

類西の神

石川郡ニシテ

類東の神

日本ニシテ

類野權現

江原郡 中村ニシテ

其社ハ後磐川院の神宇觀喜年
中ハ修國類野三所持現と
勅法あり

天年寺

其寺ハ天智天皇の御代養老
元年成就石動寺と名付く
泰澄上人用山ト云々天正十年兵火
まゝ其の田利家建テ下云々

大桑寺

金沢

曹洞宗乃用山道元和尚の建テ
其寺ハ道元和尚入庵の時一

書字ありしと云評書なることなり

○洞松院

禪宗

今所産之

○海禅寺

右同宗

今所産之

○法善寺

右同宗

今所産之

○大登山

右同宗

日所産之

○正福寺

右同宗

日所産之

○林光寺

右同宗

日所産之

○行泉寺

右同宗

日所産之

○方松寺

右同宗

日所産之

○光雲寺

右同宗

日所産之

○非宮院

真言宗

日所産之

高寺の古田氏所敷不^レ
天正年中再興本寺業師如^レ

○観音院

右同宗

日所産之

中寺の半観音行基の作也

○吉祥寺

右同宗

日所産之

○大雲院

右同宗

石川産之

○妙福寺

後^レ寺門の院^レの^レ
日親上人也則上人の教傳あり

今所産之

○本法寺

右同宗

日所産之

○西光寺

一向宗

日所_三之

も寺ハ正親町の流経寺天正身
中建立ト云々

○淨光院

右向宗

日所_三之

○正光寺

時宗

日所_三之

ふきまゑ大原の作阿孫院佛心

同國中各所之記

○葦乃浦

葦乃浦の末也くろの島の島より二里
ありありかおろのうらありまの
浦ハ山色やうり南門を記入
地越の松とそびあがりありま
越前浦流あり

葦乃浦ハわらわらと音はく

○竹浦

葦の浦より東にさうさうと云
わり是よりわらわら竹の浦と
音はす所のうら凡鳴さう
まい砂にわらわら秋乃うら

○小塩乃浦

小塩乃浦のこまやわら
秋乃秋の月とらんらん
わらわら浦とさうさうらわら
後成のうら

○藤原

せ乃中今記し志の藤原や
族ありわれは妹友よの西

○諸所

わらわら法とあやうらわら
あらのうらわらわら

○白山

白山越前よりうらとたる大山地東ハ



越中之國高棟大明神

大日本

三

越中ノ南ハ赤澤院と云リ山頂ハ
 小蛇池と云々々々みどり池と云
 リ也白山権現の由ヲ神社の記
 小蛇池ノ書にせり富士の雪ハ
 ゆる白定りこれハ白山の雪ハ海
 日あり常任絶頂ハハ雪ハ
 古今別の云々々々

○^カ赤澤院

も白山乃市宮にありていなり
 徒ハ也と云々々々白山乃

○^カ平の平

初雪の雨平と云々々々
 西ノ山と云々々々

初雪の平の平ハ云々々々
 云々々々云々々々

越後八彦大明神



同國中名物出所之部

摺原スキハラ 鼓皮ツミカハ 鎧アブミ 手摺テヅナ 鳥指トリササ

黒梅クロウメ 漆シ 雜眼物ザラガシモノ 菊酒キクサケ 黃連ワウレン

蒸餅モシヤク 白山ハクサイ 硫黄リウウ 小松コマツ 糸イト

同撰ドウセン 絲イト 同撰ドウセン 三重ミエ 緋ヒ 野川ノガハ

糸分イトワケ 江ヶ谷エガヤ 小湊コミナト 道宿ミチヤド 道

法付ホウツキ 尚國中ナウクニチ 之分ノマタ

○オ ねらネラ 本ホン 分ブン 尚國ナウクニ 三里サンリ

○オ ねらネラ 分ブン 大和オホヤマト 三里サンリ

○オ ねらネラ 分ブン 二里ニリ

湖あり津葉の城と云右の山あり
心は日建管南は足成かと云城あり

大和

えんちり山巾の湯へ三里○山代乃湯へ一里い、養生川を橋あり

○後池○すがみと○まぐろ○こまつ○八日市

○そらとろろ 月津エ 一里 右の山代乃ちりくしと云古橋あり川あり橋ありにちり川也○こま塚

○月津分 小松エ 二里 是よりさび藤系へ一里西の海邊あり○右のうさにくのま○ひさひは山代乃○うら○今井○たのこ

のいせ塚と云古城を○こんがく○浅井ありと云四五所あり也

○小松より 粟生エ 二里 城あり所瑞よ川あり橋ありけ橋とのふあり○徳田○寺井

○粟生分 水橋エ 一里 多丸川水物まうけ橋よりたの橋へまうけと云村よあ後して水橋へ出る丸所の白り通也

○水橋分 柏野エ 半道 ○あくとまり

○柏野分 松代エ 一里半 上ノ二村あり

○松代分 野市エ 一里 古橋あり

○野市分 金沢エ 一里半 社を所たのう富標う版乃流る

○金沢分 浪がさへ 三里半 金沢城あり松平が守居居也

城下町毎の分入はたむ所より野に新らまうせん所を九十町余あり

○山の上○うまろり川橋あり○柳橋○枕坂○本殿中村川橋あり

○二日市○磨谷所○大田○南中條○小中條もれたのこに写

あり浮のいりふあああり三津舟と云こま下にま塚と云ら

○津波分 竹橋エ 一里

大日本

七三

宿中川橋ありは長に多城の城は
あり○此を二宿のたのふと進令を
能列への海道也

○竹橋々 今いすまご三三
世乃んか又城中のさくあり

是より赤く宿くハ城中此國
之分よるる

小湊道七ヶ國之内

○能登國四郡亦小國東西二日

知行高二千一百六十百九十石

羽咋 能登 鳳至 珠洲

○山傍 山平六百十七里余

松本守備細紀

同國神社諸宗佛摺之大概

○氣多大神社 初作郡之

高社の神ハ大貴也今の松海
りりく高國之一宮也

○神の 水傍之

高社ハ位分兩宮の御神と勧請
乃地也ト云く亦九月十六日也

○高山権現 高山之立

高社ハ猿古彦の命ハ松海と
て元正天皇の御宇始り社建立
ト云く

○八幡宮 山傍之立

○不働寺 能登郡之立

光化天皇の弟四郎の^孫知徳之入
弟割といり

○惣持寺 松山之立

勅教寺也(同)山栄山和尚ト云く

○惣禅寺

久尾志之

用基曹洞宗の用山道元和尚
の建之より倍々道元和尚
遷化の後高寺と永年寺とあり
はるるむんじりといふは高寺の
和尚の首よりといふは高寺の
ひりしといふよりといふは

○光の院

谷村之

律土宗

高寺ハ美和年中の建之用基
由基上人といふは高寺上人
乃非法院也

○修光院

七尾之

右同宗

○妙法寺

御傍村之

法花寺也高寺ハ後必融院也
御宇建之用基日朗上人号
法光山

○蓮福寺

川原之

一向宗

高寺ハ美保年中に建之
真源空上人の身子善也
真ト云

同国中々名所之部

○狭登乃海

のちれ海は物と云異なり
先よわさ月時つり

○澗石川

石川なる山下水は
御川と云ふなり

○岩船渡

舟と云ふ岩船の
御山と云ふなり

○宮城山

長谷川

ヨリ終る若と宮城の山ありて
まのよりのあきし 七渡乃浦

同國中各處の所

錆サバ 同將セ 胸ムネ 烏賊イカ 黒漬クマヅキ
クヒキ 絹ヌイ 内海ウチノウミ 經キ 紋モノ 首ウタ
和清ワシヨ 素麩ソボ

國ありびあるものかたの地は東
と書ゆいといふしある國かた
敷のりシのりシより一國ありて吹
道ミチ 渡ワタリ 還マゼ といわゆるゆゑ系より
いふらし小浜道名は道法ミチノホウ 付ツケ
かたより紙中の分よりなる也

小浜道七ヶ國之間

○ 兼中國四郡方中國四万二百
知行高五千三百六日二十石
碓波ウヅハ 村水ムラミヅ 埴原ウヅハラ 新川ニイカハ

○ 當山之城トコヤマノシロ 江名エナ あり
東海道百六十
下道百四里
中他より七十五

當國者往古作之陸奥守成政ムロ
其後前田利長為領國

○ 天正十三年ヨリ 前田氏領之

上ノ名

松平淡路守利房

当城主

同長門守利興

同國中神社并諸宗寺院

○之ヲ推現

岩倉寺
芦倉寺

文正天皇太皇太后三月十五日教
興聖人象神示現閣之下ラ、
因二宮也

○不 萌王

俱利伽羅

有 八心銀大りりの変化らり
不動の手に持し
けんあ
竹林也

○八心宮

恒世

社八本名義仲奉
系初よせあのりり
ひく物歌
あ長文武
号のし後の新柳

○天神

竹川

社八心名
後高と
正親所院の
氏成政再真也

○天王

奥付

高社の神林八尾列
大王と
年中社建之

○觀音堂

音山

文武天皇と大室年
創本
号天退院

○明王院

口三川

右同宗
寺八後小松院の
とく夜

少くもなごさしめ國ノ一少動の爲
像を造之して高きハとのく
備へしと後せしめさへ又との
多ク一所と下さく

○松洞院 旨七之立

禪宗
同山兼西和尙建之 中建之
ありてさく

○来福寺 旨七之立

右同宗
慶長年中一の再興之 奥国基
閑静和尙トス

○法海寺 川元之立

右同宗
○阿波陀寺 磯村之立

爲寺ハ後法海院のに喜
禄年中用山親實ト人建
之ト云

○林光寺 中村之立
右同宗

○瑞泉寺
一向宗
後小松院の佛之徳之幸手紳
如上人建之也

同国中名所文部

○二上山

今いするもより 田山ノ若原毎
て新れんば中なるはさきと云ふ
是より小ニ云

○洗谷 すすきの山

洗谷の傍にありて水守の故
りありていふ人等也

吾乃そんろん流うて世に
すまふのよは月やうく

○三傳野

二上乃をこり 溪拾遺 杜の青
本乃也大辰

三傳野のおさるん 八徳松風よ
及竹あわららん あくらん

○有祿海

毎ひらるる春のまわり どの海も
よとくはつらん 冬は じらん

○勢船浦

お苗はる苗まのらん 夏はけそ
苗代あに入はせ あり

○菱乃山

色はる本の菱乃 里は度錦
あらんまらんそらん 冬はあらん

○徳波山

世所は 関所は

味りあらんらん のらんらんらん
とあらん 園とらん 越らんらん

○卯紀山

日氣守す卯紀山のおらんらん
とらんらんらんらんらんらんらん

○教波の里

あらんらん 里はあらんらん 夏は乃
らんらんらんらんらんらんらん

○細峯

細海ある細乃 峯はあらんらん 海の
あらんらんらんらんらんらんらん

○奈呉海

あこの海乃 波のらんらんらんらんらん
らんらんらんらんらんらんらん

○彦山

そ彼国は 田右わり 新勅撰
乃らんらん 彦の山はあらんらん
入物らんらんらんらんらんらん

猪坂の松 イソナミ 磯山 ミナト 志那濱

緞の水海 二瓶山

同國中名物中所定部

塩硝 カメカハナ 黄連 カメカハナ 魚乾

白川糸 シカラヌ 八講布 ミカキスナ 琢破 栗ノカラ

松波糸 世俗ニ蛇ノ糸ト云 九万疋 シラ

東の海を小浜道名

道法付為同中之分

加賀國 加賀 今いするに三里

宿中川わりの橋也。栗柄法行る。○緞巾かたえのころいさるがころと云。くろくろの糸たれり。いほ氏くろくろと云。ありは身名仲所也。○新所川橋わりの。垣生と云。八橋乃宮ありは垣生ありと云。徳時と云。竹橋下、中田まゝと云。岩通の町は芝野也。○たのうらわやと村と云。ありは仲小圃と云。あらの町は不とりと云。あまおせり。と云。○今いするに川あり小夫新川と云。

○今いするに

富山をわりの道二筋あり。利是と云。下に書分也。中田道。岩津道と云。

中田道 岩津道

○今いするに

中田 四里 岩村 一里 丸川 舟村 岩村

福屋工 一里

・わきま川

・古々山・山之宮

・千保川・中田川

○中田工

・忍河工 一里

・赤の川

・赤の川

・赤地村川

・三々田下條川

・橋之小坂

○馬河工

・馬山工 三里

・赤六首塚

・うらや川

・赤の川

・のり呉服

・城あり

・坂あり

・城あり

・城あり

○福屋工

・立野工 一里

○立野工

・立野工 一里

○馬河工

・馬山工 六里

・赤の川

・赤二上山

・赤成あり

・城あり

・西岩

・海あり

・赤岩

・赤岩

・川あり

・大道

・氷見

・つる

・のり

・水あり

・赤通川

○富山工

・水橋工 三里

・富山

・老女堂

・新屋

・西水橋

・水橋

・水橋

・水橋

・水橋

・水橋

・水橋

・水橋

・水橋

・水橋

・水橋

・水橋

・水橋

・水橋

○あぐろ○くろけ○まろ川○

長年

○横山ト

一里中

○とありト

一里中

○さろト

市ありト一里中

川あり畿中畿後のさろあり

○たもの本村

是より赤く名くハ畿後國乃分トこく

・南國清川ナガリいすトこく
淡名通之道法付

○清川ト

岩中一里中

○岩中

放生中四里中

○放生中

伏木中一里中

○伏木ト

守山中二里中

○守山ト

さろ中一里中

○さろ中

いす中二里中

和陸道七ヶ國之内

○畿後國七郡大之上國

四方六日

知行する四十五万六千名

頸城ケビキ

古志コシ

三嶋ミツシマ

魚沼イサノ

蒲原カハラ

沼ヌマリ

般若イワフミ

○高田之城タカタノシロ七十三里

三國ミクニ一里中

城主之次牙

當国性古上杉輝虎景勝領之

慶長三年ヨリ

畿後國王

溝ミチ宿ヤク峯ミネ

坂サカ江エ衛ヱ督トク治チ秀ヒデ

同 後ノチ稱ナリ和ニ平ヘ同ト畿後守忠キノミチノタカ後ノチ

慶長十五年ノチ平ヘ嫡チカ子コ丹ニ後ノチ守ミチ直チカ兼カミ代ノチ移ヒル信シノブ列レ飯イヒ山ヤマ

同十五年以後 松平上総守忠輝

元和二年ヨリ 酒井左衛門尉家次

同
同宮内太輔忠勝

同五年ヨリ 同五年信列松氏所之
二十四万石申納言秀康河次男
松平信康守忠昌

同九年ヨリ 同九年松平福井工所之
二十五万五千石
松平越後守光長

延宝九年迄松平知行上九
十万三千石
稻葉丹後守

當城主 松平因幡守定達
六万五千石

同国
○長岡之城 江戶ヨリ 三國邊上リ野干
信列松平甲守
若松邊百上リ上

城主之次

坂屋後守督持分

松平後守持分

松平上総守持分

八万石

松平丹後守直守

同四年同国村上野守督

同四年ヨリ 七万石
松平右馬允康成

同
松平北守忠成

當城主

同
松平後守忠辰

同國 ○柴田之城 江守り
奥列若松城守り
三國守り
三國守り

慶長三年以後 六万石 溝口伯耆守秀勝

五万石 同伯耆守宣勝

冬万石守臣守善勝配分

同 同伯耆守重元

当城主

同 同信濃守宣廣

同國

○本庄之城 江守り
奥列若松城守り
三國守り
信列守臣守

城主之次子

村上因防守

元和四年ヨリ 十萬石 堀丹後守直并

同 同兵部少輔具次

同 同千之丞具定

正保元年ヨリ 十萬石 本多孫兵衛守忠

慶安二年 陸奥白川守

慶安二年ヨリ 十五万石 松平大和守具定

寛文七年以後 十五万石 榊原孫兵衛守倫

後云初一政施施ニテ元 依
七子養子

宝永元年 十五万石 松平直大輝貞

同国 村松 空自り 信列 延百七リ 三國 延百七リ

三万石 湯元家基直治

同国 宇坂 空自り 三國 延百七リ

一万石 井伊兵部少輔直矩

○改城 五万三千石 有馬左衛門永統

菅田代官 小野 延百七リ 役未詳 長治 五場新治

同国 中神社 并 左 院之部

○矢射ヤセ子コ大オのノ社シヤ 浦東郡ニ之

社从五百石 当社大の社八天の智恵山の家

一宮と林一宮と 一宮と林一宮と 一宮と林一宮と

○那ナ社シヤ 疔上ニ之

社从二百石 列為 東漸寺

○愛宕アタゴ岩イワ花ハナ現ゲン

社从二百石 列為 宝光院

当社山城園和名客の那を名 山控現と高橋の所也

○八幡官 符中ニ之

社从百石

○同社 八幡村ニ之

社从四十石

○同社 一宮村ニ之

社从八石

○居田大願寺 鑿城郡 居田村之

○春日大願寺 社在五十石 同郡之

○西宮大願寺 社在五十石 同郡之

○明神 社在五十石 二田村之

○熊野權現 社在五十石 大室院

○見沙門堂 寺在二百石 頸城郡之

○五知山 寺在二百石 同郡之

○乙大日如來 本所より作後廻へ亦海ありあり

○本山業原 寺在三十石 同郡之

○香光寺 寺在五十石 同郡之

○國上寺 寺在百石 同郡之

○香光寺 寺在五十石 同郡之

大日本書紀卷之六十五

○永徳寺 振修之志

寺从二十石右同宗

○神宮寺 松本村之志

寺从百石右同宗

○用福寺 中村之志

寺从百石右同宗

○集雲寺 寺本村之志

寺从五十石右同宗

○光院 富岡之志

寺从三十石右同宗

○書院寺

寺从百石右同宗

○吉祥寺 乙川村之志

寺从二十五石右同宗

○安楽院 寺本村之志

寺从五十石右同宗

高寺正親町院の御宇上格
輝虎建之下云々

○蓮花寺 三橋之志

寺从十石右同宗

○林光寺 林之志

寺从八石五斗右同宗

○洞松庵 磯山村之志

寺从八石右同宗

○如来寺 寺本村之志

寺从十二石右同宗

○西傳寺 徳田之志

寺从十五石右同宗

○淨光院 村之志

寺从八石右同宗

○善法寺 小橋村之志

寺从三十石右同宗

○法眼寺 寺本村之志

寺从五十石右同宗

○浄祥院 大徳村に立
寺に七石太田宗

○称念寺 頸城郡に立
寺に百五十石時宗

○光澤寺 小島に立
寺に十二石太田宗

○法花寺 三田に立
花園院の門より自向上人実基

○妙興寺 飯山村に立
花園院の門より自忍上人実基
建をよくとく

○妙福寺 久保村に立
寺に十二石太田宗

○海泉 藤原郡
寺に七石太田宗
山下村に立

○かじら法郎
は法郎のみろくの世ともうらみと
をゆかり

同国中名所

当国ハミヤノ名所あり可也
と旧記あり

○岩本山 布引 糸山

○有徳花

○娘川

糸山より西へまて小陸までとなく
細く往還を海と云所より東井
川と云名の中なるは世川が利
海候しるなり

○黒娘山

高田園川より信列の志り乃
宿く細く申りたのふれ世も
んくしるなり

○妙香山

園の山と云所よりしるなり

○くまより坂

そのまの原九郎よりしるなり

とらゆりあふたは所々みらるゝ
此處のひつそせり所といふ

同國名物出所之部

鈆シロカキ 漆シロカキ 蠟燭シロカキ 白兔シロカキ 白菘シロカキ

松山白布シロカキ 細苧シロカキ 當帚シロカキ 糸山シロカキ

黃連シロカキ 眞津油シロカキ 眞津油シロカキ 油シロカキ

糸真シロカキ 自良シロカキ 自良シロカキ 川シロカキ

糸分シロカキ 糸分シロカキ 糸分シロカキ 糸分シロカキ
道法シロカキ 道法シロカキ 道法シロカキ 道法シロカキ

○越中國シロカキ 市始シロカキ 市始シロカキ 市始シロカキ

○たのシロカキ 木村シロカキ 木村シロカキ 木村シロカキ

○市始シロカキ 市始シロカキ 市始シロカキ 市始シロカキ

○たのシロカキ 木村シロカキ 木村シロカキ 木村シロカキ

○寺地シロカキ 寺地シロカキ 寺地シロカキ 寺地シロカキ

○寺地シロカキ 寺地シロカキ 寺地シロカキ 寺地シロカキ

○寺地シロカキ 寺地シロカキ 寺地シロカキ 寺地シロカキ

○寺地シロカキ 寺地シロカキ 寺地シロカキ 寺地シロカキ

○寺地シロカキ 寺地シロカキ 寺地シロカキ 寺地シロカキ

○寺地シロカキ 寺地シロカキ 寺地シロカキ 寺地シロカキ

○寺地シロカキ 寺地シロカキ 寺地シロカキ 寺地シロカキ

○寺地シロカキ 寺地シロカキ 寺地シロカキ 寺地シロカキ

○寺地シロカキ 寺地シロカキ 寺地シロカキ 寺地シロカキ

仍不修寺ニテちあり人のみ六十ハ
一言ある也○うづりれく○鬼伝と云
國所なる○地蔵寺とあり石の石
大木あり

○徳生分 名進エ 三里

○徳生のとまうり漆也○とま川
○を修つし○とま川

○名進分 名進川エ 三里

ありありのとまり○葉屋と云う村
はる坂あり○かへり

○あり海門分 長らぬエ 一里

○川あり移り

○長流分 名田エ 三里

○むす村○いわりり○赤岩○
中やこ○とま川大の謙信

飛城春日山の城法ありといふ
と蛇と云ふ○此のくは飛城の

あり○長光寺府門の城みきたの
くさり

○名田分 荒井エ 三里

城ありは所よりいれり○今川
といふ身えあり○今川身え

○荒井分 松傍エ 二里

川ありは所より二里山は別を
いふ所又他より涌出る油あり○

かすすも○あす所

○松傍分 園の山エ 一里

○希や村○くさ村○いりり村

○園の山分 小田切エ 三里

社あり妙香山の林也○二便

○小田切分 園川エ 一里

改わりはる徳坂と云ふ所あり
長才長徳寺と云ふ○ひら坂村

○園川分 佐列 野尻分 一里

戦後信徳のさういせ川あり右の
うらま娘りちの宮と云ふ人
ゆら也

是より未乃宿くハ信濃國の
分よりさうく

當國村々を奥列白川遊法

村上^{ニリ} 平村^{ニリ} 岩川^{ニリ} 中条^{ニリ}

加治^{ニリ} 岩^{ニリ} 山^{ニリ} 赤^{ニリ}

つ^{ニリ} 波^{ニリ}

天^{ニリ} 白^{ニリ}

地^{ニリ} 赤^{ニリ}

た^{ニリ} 赤^{ニリ} 赤^{ニリ}

あ^{ニリ} み^{ニリ} せ^{ニリ}

長^{ニリ} 白^{ニリ}

當國を奥列根津遊法

○さうのうり 市ぬり^{ニリ} 一里

○市ぬり^{ニリ} 一里

○うさうり 市ぬり^{ニリ} 一里

○ま^{ニリ} 一里

○すは是より根津也○今井か

○む^{ニリ} 一里

○山^{ニリ} 一里

○家^{ニリ} 一里

一里うり西に根津あり

ろ^{ニリ} 一里

は^{ニリ} 一里

ろ^{ニリ} 一里

○宮りとも 飯田工 五里也

はる坂多うし石坂伴あり○池原

○はるれをせ川杉川年川と云を

氷三川の川流を金を堰川と云を也

○飯田より 大町工四里也

○この坂あり佐井伴と云○大木瀬

あり○中つを瀬と云○この坂

○行を大町も 池田工 二里也

○池田より ありと 六里

○此よりよき川中さの林あり

まうよ遠分あり杉木の南へ行

○ありとふま行也はる川を

もあり○このくも能と云切也

坂あり○あり○あり

○ありとあり ち野工六里

○うらむより と田工 三里

小浜道七ヶ國之内

○佐渡國三郡中上國界指

知行も二万五百九十石

羽後 雜太 賀茂 見行傷

上と傷

○小浜 宮より 海陸百八里九四丁

御代官

三千石

鈴木三郎九郎

同國中神社并寺院之部

○渡津四社 羽後郡之

南社六五十猛社之為修りて

高國の一宮也ト云く

○徳野村現

新太郎 破修村に之

後冷泉院の御宇永長五年國守
夜厲のよりありて徳野三所
行現化して此所より島海と云く

○娘大神宮

川江に之

社从五十石別当

神宮寺

多社の御神の天照太神分其
して後二条院の御宇乾元元年
四月廿所に現すと云く

○蓮花峯寺

秀茂郡に之

寺从五十石余天長宗

○淨光寺

寺从五十石

依順徳院の勅親寧よとて建堂
美久三年五月九日御門御謀
反のよりありし條より御爲所と
して此國に流して其より此寺
寺に奉行ト云く

○日蓮寺

小濱村に之

寺从三十石余

後宇多院の御宇日蓮上人
建立と云り

○大善院

松山に之

寺从二十石禪宗

○蜜巖院

江川に之

寺从十五石石門宗

同國中名所之部

○紙の湖

布勢海

うみをくも何れもせむあそびの
紙の湖のうみをくも何れもせむあそびの

○雷乃石

津積る雷乃石乃石と云く
本心もそんれ紙の湖のうみ

○系抄の浦 屏風名

同國名物之部

金銀 キンギョウ 細辛 コシジ 莖連 コダシ 強深 コシ

小錫 コスズ 柳 ヤナギ 松 マツ 日蓮 ニッテン ケサカケ ケサカケ 松 マツ 上 ノリ 云 ト云



